

平成 13 年 2 月 10 日

株主各位

長野県上田市大手 2 丁目 5 番 2 号  
株 式 会 社 ガ リ レ オ  
代 表 取 締 役 社 長 赤 木 順 彦

## 第 11 期定時株主総会招集ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第 11 期定時株主総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 平成 13 年 2 月 24 日 午後 4 時～午後 6 時

2. 場所 長野県上田市大手 2 丁目 5 番 2 号  
当社本社

3. 会議の目的事項

報告事項 第 11 期(平成 12 年 1 月 1 日から平成 12 年 12 月 31 日)営業報告書の内容報告の件

決議事項

第 1 号議案 第 11 期貸借対照表、損益計算書、利益処分案承認の件

第 2 号議案 取締役の報酬改定の件

第 3 号議案 取締役の選任の件

以上

# 第 11 期 報 告 書

平成 12 年 1 月 1 日から  
平成 12 年 12 月 31 日まで

営 業 報 告 書

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

利 益 処 分 案

監 査 役 監 査 報 告 書

株式会社ガリレオ

# 営業報告書

(平成 12 年 1 月 1 日から平成 12 年 12 月 31 日まで)

## 1. 営業の概況

### (1) 営業の経過および成果ならびに対処すべき課題

#### 全般的概況

当期におけるわが国経済は、長期低迷からの脱出を期待させる明るい見通しの中で始まったものの、春以降の株価の下落が示すように、本格的な景気回復には至りませんでした。その中で当社の事業分野であるインターネット分野は、「ドットコム・バブル」とまで言い表される程の過剰な期待を集めました。ブームを象徴する米国企業の株価が下落し始めた途端、特に投資家心理が冷え込んだことにより状況は一変し、停滞の様相を見せております。

その中で当社は、地に足がついた地道な経営を心がけ、これまで通り高い専門性と総合的な提案管理機能を提供することにより大手顧客からご評価をいただき、継続的に仕事を受注することができました。同時に将来の株式公開を視野に管理体制の充実をはかり、納品物件の品質向上のための体制拡充に努めて参りました。

その結果、当期の売上高は 163,874 千円（前期比 56.2%増）、営業利益は 18,665 千円（前期比 11.5%増）、経常利益は 18,126 千円（前期比 14.6%増）となりました。

#### 部門別概況

部門別の内訳につきましては、次の通りであります。

(単位：千円)

期別 部門別	第10期		第11期 (当期)		前期対比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
翻訳	84,952	81.0%	98,108	59.9%	15.5%
報道	-	-	13,355	8.2	-
サポート	7,560	7.2	16,523	10.0	118.6
その他	12,406	11.8	35,887	21.9	189.3
合計	104,918	100	163,874	100	56.2

#### (翻訳)

海外サイトのコンテンツを国内読者向けに翻訳し、編集を行い更にサイトの制作までトータルにサポートする業務につきましては、業務実施上の体制が徐々に拡充されたこともあり、安定的な運営が行われております。春にはこれまでの当社の主要業務であった『CNET Japan』や『HotWired Japan』に加え、同様に米 IT 情報を中心に取り扱う『インターネット・コム』の翻訳業務の受注に成功し、より広い読者層に対し当社の翻訳品質をアピールすることができるようになりました。

#### (報道)

海外サイトのコンテンツの翻訳や編集で培ったノウハウを、翻訳以外のコンテンツでも活かすべく新設された本部門においては、『CNET Japan』の拡大によって新設された日本発記事や、『HotWired Japan』の中で人気コーナーに成長した『ウェブモンキー・レビュー』などの執筆から編集及び制作全般までの業務を行ってまいりました。単なる「執筆」に止まらず、常に時流を意識しジャーナリスティックな視点を保つことを心がけたコンテンツの制作は、今後さらに需要が高まるものと予想しております。

#### (サポート)

サポート業務は安定した運営を行い利益に貢献いたしました。その反面、対応する人員の体制づくりが前期来の課題となっておりましたが、個人の能力に依存するところが大きく、今期も十分な改善を行うことができませんでした。ただし、「高度ではないが専門性を必要とする」分野における軽作業へのニーズは十分に高いものと思われ、秋に受注した『goo ニューストピックス』のメンテナンス作業は、そうしたニーズの存在を裏付けるものとなりました。

#### 対処すべき課題

インターネットに関連する市場は拡大が続くものの、過剰な期待を背景としたブームの再来は望めないものと考えております。その中で当社といたしましても、業績の拡大に見合うよう管理体制を充実しつつ、着実かつ積極果敢な事業展開をはかってまいりたいと考えております。株主の皆様におかれましても、より一層のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## (2)設備投資の状況

当期中において実施いたしました設備投資の総額 225,940 円で、パソコンの購入によるものであります。

## (3)資金調達の状況

該当ありません。

## (4)営業成績および財産の状況の推移

	第8期	第9期	第10期	第11期
売上高(千円)	30,293	67,602	104,918	163,874
営業利益又は営業損失( ) (千円)	3,710	17,873	16,744	18,665
経常利益又は経常損失( ) (千円)	3,713	17,831	15,813	18,126
当期利益又は当期損失( ) (千円)	3,713	16,071	8,066	11,148
1株当たり当期利益又はは当期損失( ) (円)	18,566.85	80,358.90	39,626.12	49,550.47
総資産(千円)	9,832	16,342	41,379	53,494
純資産(千円)	5,844	10,227	20,094	31,242
1株当たり純資産(円)	29,220.33	51,138.57	89,306.70	138,857.17

(注)1.記載金額は千円未満を、1株当たり当期利益および1株当たり純資産は小数点第二位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

2.-1株当たりの当期利益は、期中平均発行済み株数に基づき算出しております。

3.-1株当たりの純資産は、期末発行済み株数に基づき算出しております。

## 2. 会社の概況(平成 12 年 12 月 31 日現在)

### (1)主要な事業内容

翻訳部門	海外のインターネットサイトのローカライズ、サイト運営
報道部門	報道コンテンツの制作、サイト運営
サポート部門	インターネット上の軽作業支援
その他の部門	インターネット広告取次等

(2)株式の概況

- 1. 会社が発行する株式の総数 900 株
- 2. 発行済株式の総数 225 株
- 3. 株主数 3 名 (前期末比増減なし)
- 4. 株主

株主名	当社に対する出資状況		当社の出資状況	
	持株数	出資比率	持株数	出資比率
	株	%	株	%
赤木 順彦	134	59.6	-	-
合原 亮一	66	29.3	-	-
上原 孝之	25	11.1	-	-

(3)企業結合の状況

該当ありません。

(4)主要な借入先

該当ありません。

(5)従業員の状況

期末日現在の従業員数 6 名(前期末比 4 名増)、平均年令 31 歳、平均勤続年数 0.8 年。

(6)取締役および監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役	赤木 順彦	コサイン・コミュニケーションズ(株)代表取締役 (株)コンピュータークリエイターズ代表取締役 (株)プロスコープ代表取締役 科学ジャーナリスト、(株)創造構想研究所代表取締役
取締役	合原 亮一	
取締役	小羽田 拓次	
取締役	上原 孝之	
取締役	岡田 哲也	
取締役	伊東 猛士	
監査役	馬場 錬成	

### 1. 就任

監査役馬場錬成は、平成 12 年 2 月 29 日開催の定時株主総会において新たに選出され、就任いたしました。

取締役小羽田拓次は、平成 12 年 4 月 23 日開催の臨時株主総会において新たに選任され、就任いたしました。

### 2. 退任

平成 12 年 2 月 29 日開催の定時株主総会終結の時をもって金井英彦氏は監査役を任期満了により退任致しました。

### 3 . 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

特に記載すべき事実はありません。

( 本営業報告書中の記載数字は、金額については表示単位未満を切り捨て、比率その他については四捨五入しております。 )

## 貸 借 対 照 表

(平成12年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>&lt; 資 産 の 部 &gt;</b>		<b>&lt; 負 債 の 部 &gt;</b>	
<b>流 動 資 産</b>	50,741	<b>流 動 負 債</b>	22,108
現金及び預金	20,461	買掛金	2,745
売掛金	27,576	未払金	8,971
仕掛品	1,428	未払消費税等	2,799
未収入金	1,000	預り金	4,206
仮払金	75	未払法人税等	3,384
前払費用	100		
繰延税金資産	279	<b>固 定 負 債</b>	143
貸倒引当金	179	繰延税金負債	143
<b>固 定 資 産</b>	2,753	<b>負 債 合 計</b>	22,251
<b>有形固定資産</b>	590	<b>&lt; 資 本 の 部 &gt;</b>	
工具器具備品	590	<b>資 本 金</b>	12,000
<b>無形固定資産</b>	224	<b>法 定 準 備 金</b>	20
電話加入権	224	利益準備金	20
<b>投 資 等</b>	1,937	<b>剰 余 金</b>	19,222
長期前払費用	3	特別償却準備金	209
差入保証金	180	別途積立金	7,500
保険積立金	1,754	当期末処分利益 (うち当期利益)	11,513
			11,148
		<b>資 本 合 計</b>	31,242
<b>資 産 合 計</b>	53,494	<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	53,494



## 損 益 計 算 書

( 平成12年1月1日から平成12年12月31日まで )

(単位：千円)

	科	目	金	額
経 常 損 益 の 部	営 業 損 益 の 部	営 業 収 益		163,874
		売 上 高	163,874	
		営 業 費 用		145,209
		売 上 原 価 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	106,909 38,300	
		営 業 利 益		18,665
	営 業 外 損 益 の 部	営 業 外 収 益		1,063
		受 取 利 息	8	
		雑 収 入	1,055	
		営 業 外 費 用		1,602
		雑 損 失	1,602	
	経 常 利 益		18,126	
	税 引 前 当 期 利 益		18,126	
	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		6,693	
	法 人 税 等 調 整 額		284	
	当 期 利 益		11,148	
	前 期 繰 越 利 益		364	
	当 期 未 処 分 利 益		11,513	

利 益 処 分 案

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	11,513,517
任 意 積 立 金 取 崩 高	
特 別 償 却 準 備 金	27,608
合 計	11,541,125
これを次のとおり処分いたします。	
任 意 積 立 金	
特 別 償 却 準 備 金	93,574
別 途 積 立 金	9,000,000
9,093,574	
次 期 繰 越 利 益	2,447,551

(注) 特別償却準備金は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。

## 注 記 事 項

### 1 . 重要な会計方針

- ( 1 ) 棚卸資産の評価方法及び評価基準  
仕掛品.....個別法による原価基準
- ( 2 ) 固定資産の減価償却方法  
有形固定資産.....法人税法の規定に基づく定率法
- ( 3 ) 引当金の計上基準  
貸倒引当金.....債権の貸倒による損失に備えるため、法人税法の規定に  
基づく限度額相当額（法定繰入率）のほか、個別債権の  
回収可能性を検討して引当計上しております。
- ( 4 ) 消費税の会計処理  
税抜方式によっております。

### 2 . 貸借対照表に関する注記

( 1 ) 有形固定資産の減価償却累計額	559 千円
( 2 ) 支配株主に対する短期金銭債務	303 千円
( 3 ) 取締役に対する短期金銭債務	334 千円
( 4 ) 1 株当たり当期利益（期中平均株式数による）	49,550 円 47 銭


## 監査報告書

私監査役は、平成12年1月1日から平成12年12月31日までの第11期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告書、利益処分に関する議案及び附属明細書を監査いたしました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成13年2月16日

株式会社ガリレオ

監査役

馬場 錬 成 

第 11 期 附 属 明 細 書

( 商法第 2 8 1 条第 1 項に基づく明細書 )

自 平 成 1 2 年 1 月 1 日  
至 平 成 1 2 年 1 2 月 3 1 日

株 式 会 社 ガ リ レ オ

## 目 次

1. 資本金及び準備金の増減
2. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細
3. 引当金の明細並びにその計上の理由及び額の算定方法
4. 支配株主に対する債権及び債務の明細
5. 取締役及び監査役に支払った報酬の額
6. 販売費及び一般管理費の明細

- (注) 1. 金額は、円単位により表示しております。
2. 「 - 」は該当数字がないことを示しております。
3. 「 」は、減少を示しております。

1. 資本金及び準備金の増減

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
(発行済株式)	( 2 2 5 株)	( - 株)	( - 株)	( 2 2 5 株)
資 本 金	12,000,000	-	-	12,000,000
利益準備金	20,000	-	-	20,000

2. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	償却 累計率
有固定資産	工具器具備品	632,324	225,940	-	267,778	590,486	559,954	48.6%
	計	632,324	225,940	-	267,778	590,486	559,954	48.6%
無固定資産	電話加入権	224,952	-	-	-	224,952		
	計	224,952	-	-	-	224,952		
投等 資	保険積立金	1,211,840	542,640	-	-	1,754,480		
	計	1,211,840	542,640	-	-	1,754,480		

(注) 1. 当期増加額の主な内訳

工具器具備品	パソコン	225,940円
保険積立金	日本団体生命保険(株)	542,640円

3. 引当金の明細並びにその計上の理由及び額の算定方法

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	計上の理由 及び額の算定方法
貸倒引当金	96,072	179,778	96,072	179,778	重要な会計方針に記載の通りである。

(注) 1. 目的使用以外の理由による取崩し額

貸倒引当金の当期減少額は、法人税法の規定に基づく洗替による戻入額である。



4. 支配株主に対する債権及び債務の明細

(1) 債務の明細

(単位：円)

支配株主名	科目	短期金銭債務		長期金銭債務
		未払金	計	計
赤木順彦		303,020	303,020	0

5. 取締役及び監査役に支払った報酬の額

(単位：円)

区分	支給人員	支給額	摘 要
取締役	3名	21,600,000	平成12年2月29日 定時株主総会の決議による 報酬限度額 年額30,000,000円
監査役	-	-	
計	3名	21,600,000	

(注) 1. 期末日現在の取締役は6名、監査役は1名である。

6. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	21,600,000	
給 料 手 当	400,000	
雑 給	6,375	
広 告 宣 伝 費	786,800	
支 払 手 数 料	7,289,241	
賃 借 料	54,645	
事 務 外 注 費	109,049	
諸 会 費	96,619	
接 待 交 際 費	2,513,437	
旅 費 交 通 費	1,230,624	
通 信 費	1,368,499	
事 務 消 耗 品 費	204,728	
消 耗 品 費	418,547	
租 税 公 課	38,550	
地 代 家 賃	951,576	
水 道 光 熱 費	491,478	
保 険 料	440,275	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	83,706	
会 議 費	133,655	
寄 付 金	10,000	
雑 費	72,905	
計	38,300,709	

(注) 印の費目には、会社が無償でした財産上の利益の供与が含まれている。